

奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ道 通りの愛称を大募集！



奥沢駅側から奥沢子安公園方面を望む

奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ道を ご存じですか？

この道は、街区に対して斜めに通っており、駅への近道として多くの方に利用されています。交差点には道祖神や大きな樹木、小さなみどりの植え込みなどがあり、通りの風景を彩っています。

奥沢1～3丁目の風景づくりでは、この道を重点的に風景づくりを取り組んでいくエリアの1つとして検討中です。

この通りの愛称を募集します！

現在、この通りには名前がありません。お住まいの方同士での通称、密かに名付けた自分だけの愛称、新たに名付けたい愛称などを奥沢1～3丁目にお住まいの方々から募集します。

応募いただいた愛称は、オープンハウスにて皆様にご意見を伺う予定です！

募集する愛称は、「道路通称名」ではありません。

奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ道 位置



応募方法は **2** 通り！ 〆切：2021年1月29日（金）

方法

1

以下の QR コード又は URL から
愛称募集のページにアクセスして、
ご応募ください。

(募集には Google フォームを使用しています)

<愛称募集>

<https://forms.gle/gzXvHhCxcWZw9iTZA>



お問い合わせ先
世田谷区 都市整備政策部 都市デザイン課
電話 03-5432-2039

方法

2

以下を記入して、切り取り線で切り、
お近くの応募箱までご持参ください。

<応募箱の設置場所>

- ・奥沢交和会館1階
- ・シェア奥沢入口
- ・奥沢まちづくりセンター1階窓口

お住まいの丁目

1丁目 ・ 2丁目 ・ 3丁目

愛称

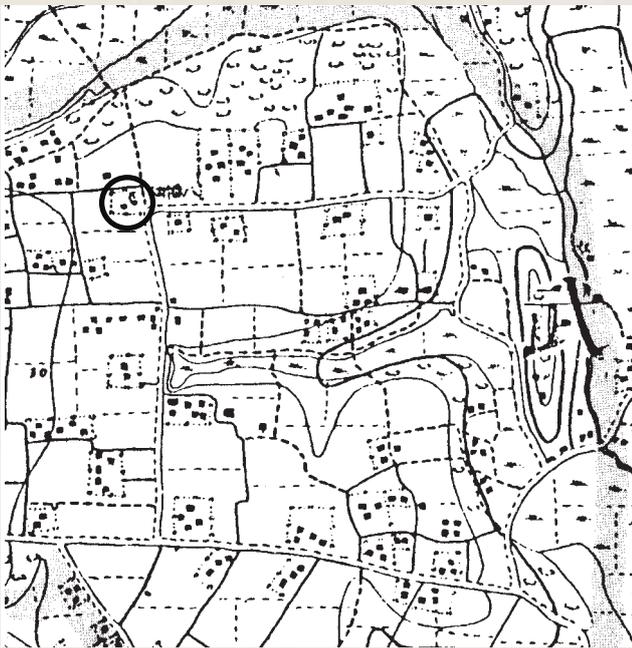
なぜその愛称をつけましたか

奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ道 昔ばなし

奥沢1、3丁目付近は、江戸時代は「奥沢本村」と呼ばれていました。

建保元年（1213年）、源頼朝により討たれた和田義盛の子孫が、元亀元年（1570年）に家臣12名とともに切り開き定住したのが始まりと言われています。村の大部分は田畑や林、竹やぶでした。村の鎮守様の子安稲荷神社（現在の奥沢子安公園にありました）周辺には家々が集まり、かつての村の中心だったようです。

出典：ふるさと世田谷を語る 尾山台、奥沢篇
（世田谷区発行）



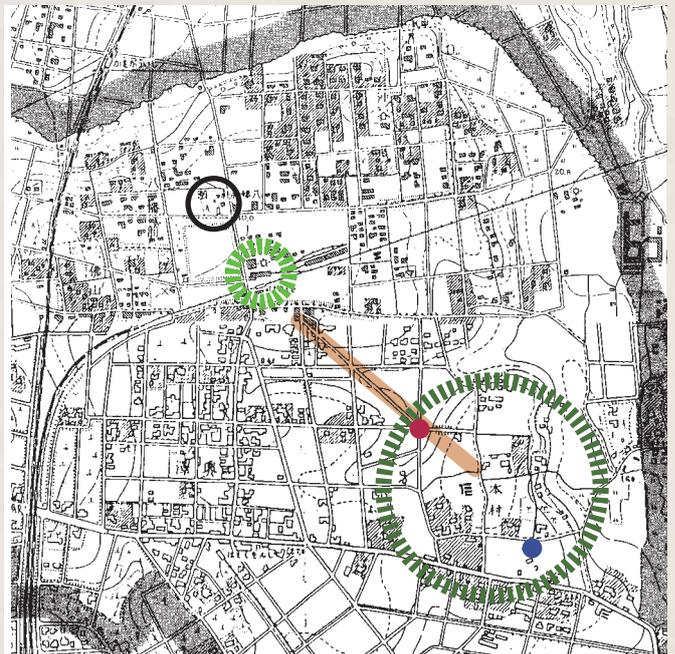
出典：世田谷古地図 明治14年（1881年）当時

現在、駅方面へ向かう道として多くの方が利用されているこの道は、昭和初期に行われた玉川全圃耕地整理によりできました。街区に対して斜めに通っており、かつての村の中心と駅を結ぶようにつくられたのではないかとされています。



奥沢本村由来碑

○ 奥沢神社 (旧八幡神社) ● 現奥沢駅 ● 奥沢本村の中心
● 道祖神 ● 奥沢本村由来碑 (墓地内)



出典：世田谷古地図 昭和4年（1929年）当時



まっすぐに続く道を歩いていくと、穏やかな高低差によってまちに残る大きな木や家々のみどりが連なって見るとともに、遠方まで見通せるため、まちのみどりや地形の変化を感じることができます。



道の途中にある六叉路の交差点には、街角のみどりを背景に、庚申塔に挟まれ、道祖神が祀られています。表には文化9年（1812年）11月と刻まれており、古くにつくられたものであることが分かります。

